



◀観衆も大勢で、カの入る綱引き

無病息災と豊作を祈り、熱い決戦の伝統行事

岸川地区の盆綱引き

北多久町岸川地区で8月15日の夜、『盆綱引き』が行われました。

無病息災や作物の豊作を祈り、住民が一体となって行う伝統行事で、現在は盆踊りと交互に隔年で開催。帰省客を含む多くの人々が親睦を深めています。

引き合う綱は、稲ワラを練って作った6本の綱を3本に仕上げ、それをカズラと共に1本に練り合わせた頑丈なもので、直径50cm、長さ30m余りの大綱。前日の早朝から昼にかけて、地区民総出で作られたもので、これも貴重な伝統行事となっています。

大太鼓の合図で、上地区対下地区の対戦や男性対女性（子供の力も応援）の決戦を行い、「ヨイヨイサー、ヨイヨイサー」の掛け声や歓声で岸川地区のお盆の夜は大賑わい。子どもたちによる「盆綱引き歌」の披露やお楽しみ抽選会も行われ、多くの人々が楽しみました。

引き合った後の綱は、みかん農家へと引き取られ、貴重な肥料として土に還元されます。

がんばって作った「手打ちうどん」は、特別な味

給食センターで夏休みクッキングスクール

「おいしい手打ちうどんを作ろう！」と7月27日、給食センターで夏休みクッキングスクールがあり、市内の小学4年生30人が参加しました。手づくりの楽しさを体験し、食の大切さやセンターの仕事を知ってもらおうと、職員ら12人が指導にあたりました。

子どもたちは、小麦粉に塩水を加え、こねて生地を作り、それをねかせた後、足でしっかり踏み込んで、こしのある麺づくりに一生懸命。麺棒に見立てたラップの芯で薄く延ばし、製麺機や包丁で切って生麺を仕上げました。ゆでた麺を冷まして、アスパラガスやトマトなどを盛り付けた『ぶっかけうどん』と、一緒に作った焼きトウモロコシやバナナシェイクで会食し、楽しいランチとなりました。

子どもたちは「生地をこねるのが大変だったけど、特別においしかった」「最後までやり遂げて嬉しかった」「給食センターの人達が作ってくれる気持ちのこもった給食に感謝し、好き嫌いせずに食べようと思った」などと話し、他校の同級生と交流も楽しんでいました。



▲うどんの生地を一生懸命にこねる参加者

おめでとう！柴田さん ジャパンパラリンピック 水泳競技で金メダル

7/20

東多久町の柴田健二さんが、大阪なみはやドームで行われたジャパンパラリンピック水泳競技大会の100m自由形と400m自由形種目で金メダルに輝きました。

柴田さんは9度目の出場で、100m自由形1分17秒12と自己記録の更新。「今後は後輩の指導もしながら、11月の大会へ向けタイムを縮めたい」と更なる記録更新を目指します。

写真＝柴田さんの健闘を称える陣内和博多久市身体障害者福祉協会会長(左)と市長



多久市老人福祉 囲碁クラブ 親善大会で親睦深める

7/17

『多久基山親善囲碁大会』（多久市老人福祉囲碁クラブ主催）がむつみ荘で行われました。

「囲碁を通じて多久市と基山町との交流、親睦を深めよう」と、平成20年に始まり、今回は両会員56人が熱戦を繰り広げ、対局後は和やかな時間を過ごしました。「健康と生きがいづくりで、生活をより豊かに！囲碁を趣味にする方の入会をお待ちしています」と会員募集中です。連絡先は、むつみ荘 ☎75-3701)。囲碁クラブは(月)～(土)12:00～16:30開催中。

